

2020年6月17日 全7頁

## Indicators Update

# 2020年5月貿易統計

輸出金額はリーマン・ショック以来の水準まで落ち込む

経済調査部 エコノミスト 鈴木 雄太郎  
シニアエコノミスト 小林 俊介

### [要約]

- 2020年5月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲28.3%と大幅に減少し、コンセンサス（同▲26.1%）を僅かに下回った。水準で見ると、2009年5月以来の低さである。5月中旬以降、欧米各国ではロックダウン措置等が段階的に緩和されたものの、予想以上の落ち込みとなった。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲7.6%と3ヶ月連続で減少した。地域別に見ると、米国向け（同▲11.0%）、EU向け（同▲11.1%）、アジア向け（同▲5.1%）といずれも減少している。
- 5月の輸入数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲10.3%と3ヶ月ぶりに減少した。品目別に見ると、マスク等を含む織物用糸・繊維製品が増加した一方、原油及び粗油、鉄鉱石、非鉄金属などの素材が全体を押し下げた。国内における経済活動の自粛による需要の減退が影響したとみられる。
- 先行きの輸出数量は、5月を底に緩やかに増加するとみている。とはいえ、新型コロナウイルス感染症の影響が表れる前の水準まで回復するには相当の時間を要するだろう。主要な最終需要地である欧米では経済活動が段階的に再開されているが、こうした動きが継続すれば輸出も徐々に回復するだろう。ただし、感染再拡大によってロックダウンが再び実施される可能性も十分にある。この場合、輸出の減少基調は継続するだろう。

## 【貿易金額】輸出金額はリーマン・ショック以来の水準まで落ち込む

2020年5月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲28.3%と大幅に減少し、コンセンサス(同▲26.1%)を僅かに下回った。水準で見ると、2009年5月以来の低さである。5月中旬以降、欧米各国ではロックダウン措置等が段階的に緩和されたものの、予想以上の落ち込みとなった。

季節調整値で見ても、前月比▲5.8%と3ヶ月連続で減少した。欧米を中心とした各国のロックダウン措置等による経済活動の停滞が、4月に続いて輸出を直撃した。

他方、輸入金額は前年比▲26.2%であった。季節調整値でも前月比▲12.0%と3ヶ月ぶりに減少した。貿易収支は▲8,334億円(季節調整値では▲6,010億円)と大幅な赤字となった。

### 図表1：貿易統計の概況

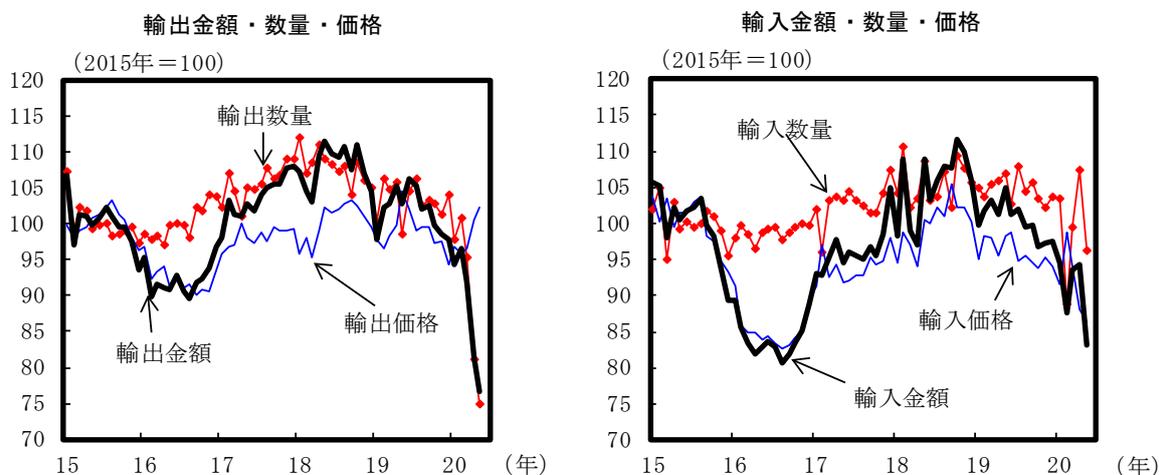
		2019年				2020年				
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
原系列 前年比 %	輸出金額	▲5.2	▲9.2	▲7.9	▲6.3	▲2.6	▲1.0	▲11.7	▲21.9	▲28.3
	コンセンサス									▲26.1
	DIRエコノミスト予想									▲28.6
	輸入金額	▲1.4	▲14.7	▲15.6	▲4.8	▲3.6	▲13.9	▲5.0	▲7.1	▲26.2
	輸出数量	▲2.3	▲4.4	▲5.0	▲1.9	▲1.6	▲2.4	▲11.2	▲21.3	▲27.3
	価格	▲2.9	▲5.0	▲3.1	▲4.6	▲1.0	1.4	▲0.6	▲0.7	▲1.4
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	6.7	▲6.1	▲8.1	1.2	▲1.7	▲17.3	▲2.5	1.4	▲14.9
	価格	▲7.7	▲9.2	▲8.2	▲6.0	▲1.9	4.2	▲2.6	▲8.3	▲13.4
	貿易収支(億円)	▲1,291	112	▲884	▲1,591	▲13,151	11,066	72	▲9,319	▲8,334
	輸出金額	0.5	▲2.7	▲1.2	▲0.7	▲3.6	2.3	▲4.9	▲11.4	▲5.8
	数量	0.7	▲0.5	▲1.5	2.7	▲6.1	3.2	▲5.6	▲14.9	▲7.6
	価格	▲0.2	▲2.2	0.2	▲3.3	2.6	▲0.9	0.7	4.1	1.9
税関長 公示レ ート	輸入金額	0.1	▲2.9	0.6	0.1	▲2.9	▲7.3	6.6	0.9	▲12.0
	数量	1.1	▲2.0	▲1.1	1.4	▲0.3	▲14.0	11.9	7.9	▲10.3
	価格	▲1.0	▲0.9	1.7	▲1.3	▲2.6	7.7	▲4.7	▲6.4	▲1.9
	貿易収支(億円)	▲585	▲392	▲1,533	▲2,007	▲2,382	3,517	▲3,254	▲10,431	▲6,010
		106.69	107.77	108.76	108.95	109.30	109.50	107.96	108.56	107.17

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

### 図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格(季節調整値)



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

### 【輸出数量】欧米向けが激減、アジア向けは中国向けが下げ止まり、落ち込み幅は限定的

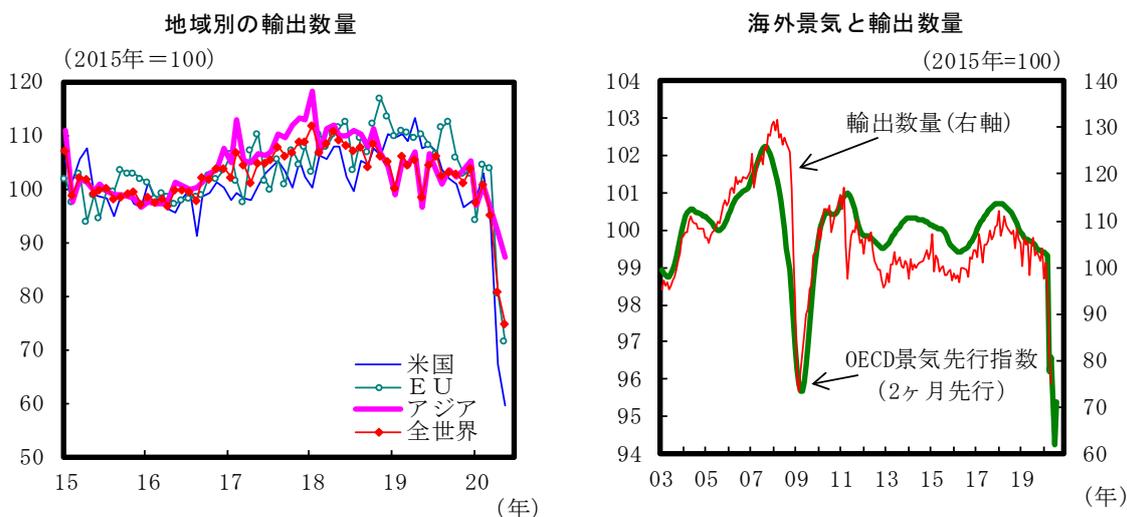
5月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲7.6%と3ヶ月連続で減少した。地域別に見ると、米国向け（同▲11.0%）、EU向け（同▲11.1%）、アジア向け（同▲5.1%）といずれも減少している。

地域別・品目別に5月の動きを見ると、米国向けは自動車や同部分品が前月に続き大幅に減少した。自動車は新型コロナウイルス感染症拡大の影響が出る前の2月対比で8割減となっており、全体を大きく押し下げている。また、原動機や電算機類、同部分品などの一般機械にも弱さが見られ、輸出数量（内閣府）は統計を開始した1998年以降の最低水準を更新した。

EU向けでは、自動車の減少は一服したものの、建設用・鉱山用機械や原動機などが全体を下押しした。自動車の部分品や電算機類の部分品なども減少しており、ロックダウン等による欧州内の工場停止の影響も見受けられる。

アジア向けは、半導体等電子部品などが増加したものの、鉄鋼や有機化合物が減少した。アジア向けの輸出も欧米向けと同様に弱さが見られたが、中国向けについては、3月を底に下げ止まりの兆しが見られる。品目別では非鉄金属や鉄鋼、原動機などが増加に寄与した。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数（CLI）はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

**【輸入数量】国内の自粛の影響で大幅に減少**

5月の輸入数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲10.3%と3ヶ月ぶりに減少した。品目別に見ると、マスク等を含む織物用糸・繊維製品が増加した一方、原油及び粗油、鉄鉱石、非鉄金属などの素材が全体を押し下げた。国内における経済活動の自粛による需要の減退が影響したとみられる。

**【見通し】輸出は5月を底に増加へ転じるとみるも、元の水準に戻るには相当の時間を要する**

先行きの輸出数量は、5月を底に緩やかに増加するとみている。新型コロナウイルス感染症の影響が表れる前の水準まで回復するには相当の時間を要するだろう。

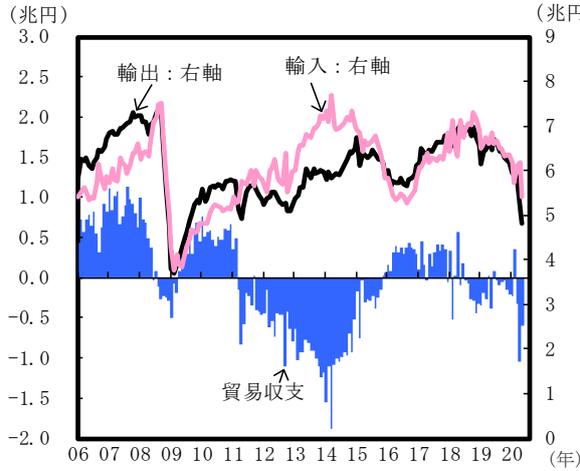
主要な最終需要地である欧米ではロックダウン等の措置が段階的に緩和されており、経済活動を再開する動きが見られる。こうした流れが今後も継続すれば、輸出は徐々に回復するだろう。とはいえ、この数ヶ月間で失った需要を取り戻すようなV字回復は描きにくい。

一方、世界より一足先に感染収束に成功した中国向けの輸出は底打ちの兆しが見られる。中国の鉱工業生産指数などはV字回復したものの、小売売上高などは依然弱いままである。仮に中国の内需が本格的に回復すれば、同国への最終需要財輸出や、中国と密接なサプライチェーンを形成しているアジア向け輸出の持ち直しが期待できる。だが、欧米の最終需要の回復が鈍い中では、アジア向けの中間財輸出もその影響を受けるだろう。そのため、アジア向けの輸出が元の水準に戻るのも、世界的な感染収束時期に依存するだろう。

また、中国など一部の国では感染第2波の到来への懸念が強まっている。経済活動の早期再開により感染が再拡大し、ロックダウン等が再び実施されることで、輸出の減少基調が継続するリスクは十分にある。

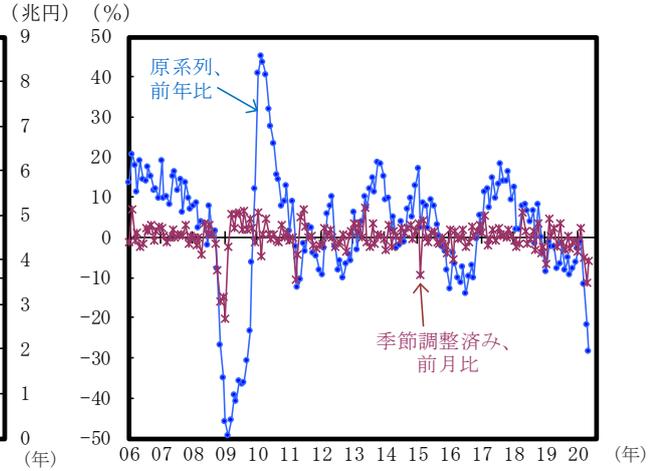
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

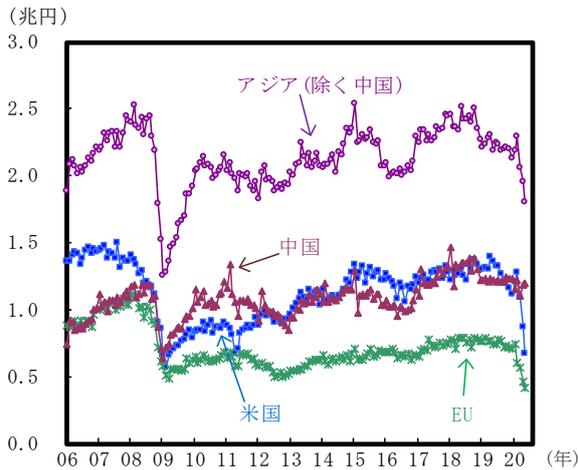


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

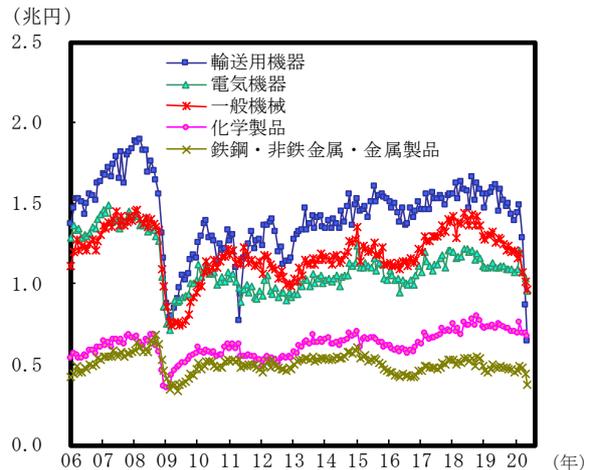


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

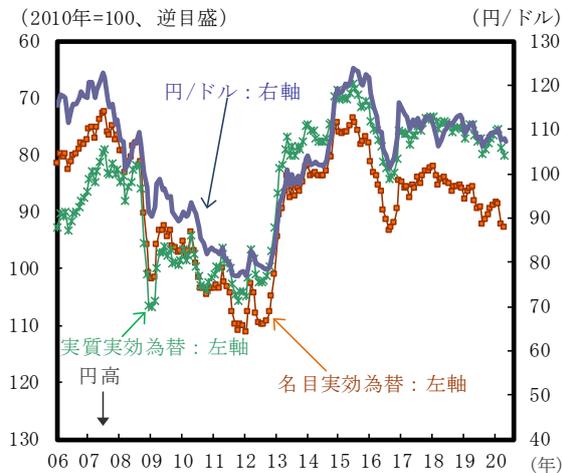


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

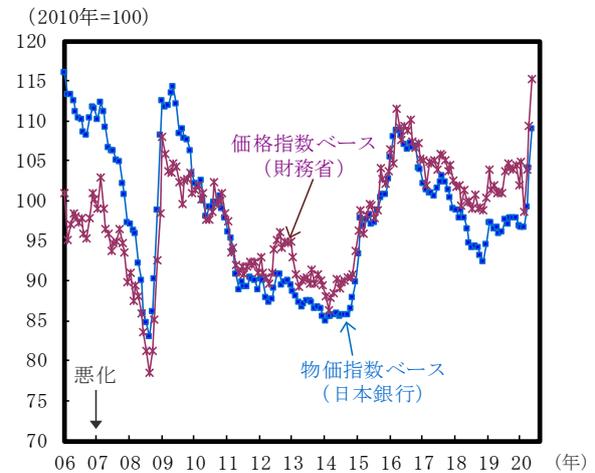


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2019/12	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.3	▲2.6	▲1.0	▲11.7	▲21.9	▲28.3	100.0	▲28.3
食料品	1.9	▲5.5	▲0.8	▲9.5	▲9.0	6.6	1.4	0.1
原料品	▲17.2	10.9	7.9	▲4.9	▲17.1	▲32.6	1.5	▲0.5
鉱物性燃料	▲9.1	▲5.1	▲17.1	▲5.5	▲40.0	▲72.6	0.8	▲1.6
化学製品	▲4.8	▲4.5	3.3	▲5.2	▲6.3	▲6.9	14.7	▲0.8
原料別製品	▲9.1	▲1.9	4.1	▲2.1	▲14.5	▲23.8	12.5	▲2.8
鉄鋼	▲13.3	▲4.0	8.9	7.3	▲9.9	▲27.6	4.7	▲1.3
非鉄金属	1.4	14.1	22.0	5.1	▲4.2	▲5.9	2.4	▲0.1
金属製品	▲10.1	▲3.2	▲3.5	▲13.2	▲22.2	▲26.8	1.6	▲0.4
一般機械	▲6.2	▲9.5	▲8.8	▲17.9	▲23.2	▲23.2	20.9	▲4.5
電気機器	▲3.3	▲1.1	9.8	▲3.5	▲8.8	▲13.7	20.3	▲2.3
半導体等電子部品	2.6	1.4	23.2	6.3	4.3	▲1.5	7.3	▲0.1
I C	3.9	4.3	21.4	6.0	4.3	▲6.4	5.0	▲0.2
映像機器	▲17.5	▲6.7	0.3	▲24.8	▲43.0			
映像記録・再生機器	▲14.8	▲2.5	4.9	▲27.8	▲43.1	▲49.0	0.3	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲3.1	▲14.7	7.1	0.1	▲31.2	▲21.1	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	▲5.6	▲1.1	5.0	▲8.7	▲8.7	▲17.9	2.7	▲0.4
輸送用機器	▲10.7	▲2.1	▲4.1	▲18.2	▲45.5	▲60.3	12.9	▲14.1
自動車	▲11.8	▲4.7	▲4.0	▲13.1	▲50.6	▲64.1	7.7	▲9.8
自動車の部分品	▲10.9	▲4.2	▲3.6	▲17.9	▲39.2	▲57.6	2.8	▲2.7
その他	▲0.8	5.8	▲2.0	▲15.0	▲12.7	▲14.4	15.0	▲1.8
科学光学機器	2.1	0.1	6.4	▲8.8	▲13.1	▲14.8	3.1	▲0.4

米国向け輸出金額 内訳								
	2019/12	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲14.9	▲7.7	▲2.6	▲16.5	▲37.8	▲50.6	100.0	▲50.6
食料品	▲4.7	▲9.8	18.9	▲8.2	▲21.5	▲33.2	0.9	▲0.2
原料品	0.4	70.3	41.5	34.5	26.0	▲21.5	0.8	▲0.1
鉱物性燃料	▲12.0	▲9.8	21.6	▲44.9	▲55.0	▲70.0	1.1	▲1.2
化学製品	▲13.7	▲6.8	11.9	▲4.6	▲6.1	10.5	14.7	0.7
原料別製品	▲10.6	▲4.9	▲0.6	▲15.5	▲20.7	▲36.9	8.4	▲2.4
鉄鋼	▲25.1	▲34.7	▲21.4	▲31.6	▲28.5	▲22.4	2.0	▲0.3
非鉄金属	▲18.6	20.4	29.6	▲19.2	▲27.2	▲27.6	1.0	▲0.2
金属製品	10.1	19.7	1.1	▲2.5	▲21.9	▲45.9	1.8	▲0.8
一般機械	▲10.3	▲9.0	▲5.6	▲20.4	▲27.6	▲40.9	28.0	▲9.6
電気機器	▲12.6	▲2.6	8.6	▲2.1	▲22.1	▲42.2	15.0	▲5.4
半導体等電子部品	▲15.0	▲7.8	▲6.5	▲12.0	▲26.3	▲35.4	1.9	▲0.5
I C	▲16.9	▲3.1	▲12.0	▲13.9	▲31.0	▲48.3	0.7	▲0.3
映像機器	▲8.0	6.8	15.7	▲7.9	▲37.5			
映像記録・再生機器	▲4.9	8.5	16.9	▲6.0	▲40.2	▲57.9	0.5	▲0.4
音響・映像機器の部分品	▲30.5	▲26.5	12.1	11.2	▲35.3	▲63.1	0.1	▲0.1
電気回路等の機器	▲14.3	▲5.0	3.5	▲11.3	▲20.0	▲41.2	1.6	▲0.6
輸送用機器	▲20.0	▲14.9	▲7.9	▲21.7	▲62.7	▲76.4	17.3	▲27.7
自動車	▲21.4	▲18.5	▲9.2	▲23.7	▲65.8	▲78.9	11.6	▲21.4
自動車の部分品	▲20.4	1.4	2.9	▲17.5	▲40.9	▲73.2	3.0	▲4.1
その他	▲13.0	13.5	▲4.4	▲16.0	▲20.3	▲40.3	14.0	▲4.7
科学光学機器	▲14.1	5.9	1.3	▲9.7	▲33.1	▲27.2	3.1	▲0.6

EU向け輸出金額 内訳								
	2019/12	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.1	▲1.8	▲23.9	▲26.5	▲39.4	▲43.8	100.0	▲43.8
食料品	4.3	26.1	▲16.5	▲16.4	▲39.8	▲38.9	0.4	▲0.1
原料品	▲2.8	▲16.1	▲17.2	▲16.4	▲26.3	▲67.7	0.9	▲1.1
鉱物性燃料	64.1	▲92.1	▲69.0	▲49.1	12.9	▲94.0	0.1	▲0.7
化学製品	▲7.5	15.3	▲0.0	▲11.9	▲6.5	▲0.7	16.9	▲0.1
原料別製品	▲9.6	▲11.9	▲16.6	▲21.6	▲31.1	▲36.3	7.0	▲2.3
鉄鋼	30.7	▲43.4	▲2.0	▲22.1	12.3	▲15.1	1.2	▲0.1
非鉄金属	▲4.4	21.2	▲31.7	▲7.4	▲28.9	▲23.9	0.8	▲0.1
金属製品	▲29.1	▲11.8	▲21.1	▲30.3	▲44.5	▲46.2	1.5	▲0.7
一般機械	▲16.9	▲16.1	▲27.1	▲32.1	▲38.2	▲47.7	23.1	▲11.9
電気機器	▲9.8	▲6.7	▲19.3	▲20.3	▲38.0	▲34.4	20.7	▲6.1
半導体等電子部品	▲7.3	▲5.6	▲0.4	▲18.9	▲29.4	▲30.5	2.5	▲0.6
I C	▲12.7	▲19.9	▲10.5	▲30.6	▲37.5	▲39.8	1.0	▲0.4
映像機器	▲19.8	▲18.5	▲7.6	▲29.7	▲62.7			
映像記録・再生機器	▲15.9	▲19.7	4.5	▲23.8	▲58.1	▲68.0	0.4	▲0.5
音響・映像機器の部分品	21.9	▲1.6	0.7	▲30.9	▲0.6	▲38.0	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲11.3	▲13.4	▲23.5	▲27.4	▲31.2	▲39.8	1.8	▲0.7
輸送用機器	▲5.2	▲4.3	▲26.0	▲24.1	▲59.0	▲63.9	16.7	▲16.6
自動車	▲4.4	▲15.8	▲28.6	▲32.5	▲63.4	▲58.7	11.9	▲9.5
自動車の部分品	▲3.5	▲1.4	▲13.0	▲8.1	▲53.3	▲77.0	2.5	▲4.6
その他	2.7	28.7	▲35.2	▲38.9	▲35.6	▲38.5	14.1	▲5.0
科学光学機器	▲8.6	▲4.7	▲0.7	▲23.0	▲35.3	▲25.2	4.0	▲0.8

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2019/12	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲3.6	▲3.2	1.7	▲9.4	▲11.3	▲12.0	100.0	▲12.0
食料品	3.2	▲7.8	▲5.0	▲11.6	▲2.6	18.8	1.7	0.2
原料品	▲20.1	8.9	4.0	▲11.3	▲20.8	▲27.9	1.9	▲0.6
鉱物性燃料	▲10.1	28.6	9.6	20.5	▲30.9	▲59.3	0.8	▲1.0
化学製品	▲2.7	▲7.8	0.1	▲6.0	▲9.2	▲12.1	15.8	▲1.9
原料別製品	▲10.1	▲3.9	4.1	▲1.8	▲12.2	▲20.2	13.6	▲3.0
鉄鋼	▲16.0	▲6.8	7.0	5.0	▲13.1	▲30.7	5.1	▲2.0
非鉄金属	0.0	9.9	20.1	7.5	1.6	▲3.5	3.2	▲0.1
金属製品	▲10.7	▲8.9	▲3.5	▲15.0	▲17.0	▲15.6	1.7	▲0.3
一般機械	0.1	▲6.3	▲8.9	▲17.2	▲18.6	▲7.3	19.7	▲1.4
電気機器	▲1.3	▲0.0	14.8	▲1.5	1.4	▲1.5	23.9	▲0.3
半導体等電子部品	4.3	2.2	26.9	9.0	8.3	2.0	10.3	0.2
IC	5.3	5.3	24.3	8.3	7.2	▲3.8	7.4	▲0.3
映像機器	▲27.0	▲13.3	▲14.3	▲42.9	▲40.0			
映像記録・再生機器	▲18.3	▲1.3	▲5.2	▲43.8	▲35.7	▲26.6	0.2	▲0.1
音響・映像機器の部分品	2.7	▲9.8	8.6	1.5	▲32.3	▲7.7	0.4	▲0.0
電気回路等の機器	▲4.8	1.4	8.5	▲6.2	▲3.8	▲9.6	3.4	▲0.3
輸送用機器	▲15.7	▲3.6	2.3	▲21.2	▲32.1	▲38.3	6.6	▲3.6
自動車	▲4.3	7.0	7.8	4.1	▲30.2	▲42.7	3.2	▲2.1
自動車の部分品	▲13.7	▲12.6	▲6.8	▲30.7	▲28.8	▲35.5	2.6	▲1.2
その他	4.0	▲3.5	▲1.6	▲13.3	▲4.6	▲2.8	16.0	▲0.4
科学光学機器	8.8	▲0.4	8.5	▲6.0	▲2.1	▲10.1	3.4	▲0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2019/12	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	0.8	▲6.4	▲0.4	▲8.7	▲4.0	▲1.9	100.0	▲1.9
食料品	28.4	0.4	▲17.0	▲1.2	18.9	41.0	1.1	0.3
原料品	▲52.8	▲3.2	▲24.4	▲36.9	▲39.8	▲44.0	1.3	▲1.0
鉱物性燃料	▲44.5	▲30.5	▲34.0	▲32.8	▲24.4	▲30.4	0.7	▲0.3
化学製品	2.4	▲8.9	▲1.6	▲5.9	▲7.5	▲2.3	17.3	▲0.4
原料別製品	▲0.1	▲8.4	▲1.8	▲6.1	▲5.6	2.2	12.1	0.3
鉄鋼	▲1.4	▲0.9	3.6	2.0	▲9.2	▲12.5	3.4	▲0.5
非鉄金属	9.7	▲9.7	▲1.9	11.8	13.1	41.4	3.6	1.0
金属製品	▲3.3	▲15.8	▲8.1	▲18.6	▲12.6	1.1	1.8	0.0
一般機械	7.6	▲3.5	▲13.3	▲14.6	▲11.6	▲3.7	23.3	▲0.9
電気機器	▲3.4	▲5.6	17.1	▲1.5	10.3	8.5	22.1	1.7
半導体等電子部品	▲10.1	▲8.2	31.6	14.5	29.4	5.6	7.5	0.4
IC	▲17.1	▲10.0	26.5	17.4	40.2	4.1	5.5	0.2
映像機器	▲21.8	7.2	▲14.1	▲46.4	▲33.1			
映像記録・再生機器	▲6.0	39.9	8.4	▲48.8	▲21.6	▲1.2	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	14.5	▲23.9	11.4	4.2	▲21.2	19.2	0.5	0.1
電気回路等の機器	▲2.8	1.2	10.6	▲12.4	0.8	3.1	3.5	0.1
輸送用機器	9.7	5.8	12.3	▲9.8	▲13.7	▲16.4	8.7	▲1.7
自動車	36.3	32.0	28.5	19.2	▲10.0	▲20.8	4.3	▲1.1
自動車の部分品	▲11.5	▲17.8	▲4.4	▲37.6	▲18.5	▲11.2	4.2	▲0.5
その他	4.4	▲14.9	2.1	▲6.8	7.5	0.5	13.4	0.1
科学光学機器	14.9	▲2.6	6.0	▲3.1	3.9	▲8.8	4.3	▲0.4

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成